

実践研修開催

～木材生産販売戦略のプロを目指して～

令和6年9月11日から13日の3日間、四国森林管理局において業務研修専門研修（実践研修）を実施しました。この研修は、現在、森林総合監理士として活動する職員と将来挑戦する職員11名で「**地域における実践的な指導・助言が出来る人材の育成**」を目的にグループワーク形式で行われたものです。

今回のテーマは「**地形に応じた効率的な架線集材作業システムと木材流通について**」、1日目は、資源活用課長から集材システムについての講義を受けた後、当森林技術・支援センター所有の（林野庁で2台しかない）「電動ミニ集材システム」を使って、実際に一人一人操作することで各ラインの役割と動作を体験してもらいました。



資源活用課長講義の様子



電動ミニ集材機操作の様子



研修生の様子



猪野々山集材システム講義の様子



物部ストックヤード木材流通講義の様子

2日目は高知中部森林管理署管内の猪野々山の森林整備事業（活用型・複数年契約）現場において、事業を実施している公文林業（株）公文社長から現地の概要や実際の架線集造材システム等についての説明を受けました。その後、出材先である物

部森林組合物部ストックヤードにて、杉浦所長から、木材利用・流通事情について説明を受けました。

最終日は、3班に分かれて、班毎に当該国有林を民有林とみだてて、班内全員の考えや意見を集約化させつつ、事前に設定された条件を基に、地形に応じた効率的な架線及び作業路網を組み合わせた集材作業システムの設定と収支計算を行いました。そのあと各班から、出来上がったプランを発表してもらい、職員の経験と個性が十分発揮されたプレゼンテーションとなりました。会場では、全員が役場担当者及び森林所有者のつもりで、活発に意見交換を行う有意義な時間となり、受講者からは「急こう配な地形が多い四国での搬出計画について、再度考察する機会を得られて良かった」などの感想がありました。

近年、作業路網による集造材が主流となってきている中、急峻な地形が多い四国において架線主体の効率的な作業システムは必要不可欠なものであり、今後、自治体の職員参加型の研修内容になるように再考し、技術力の継承・向上を図り、効率的な木材生産販売戦略を担う人材の育成を行って参ります。

各種試験調査・見学のお問い合わせは
四国森林管理局 森林技術・支援センター
☎ 088-821-2250
e-mail shikoku_gijyutu@maff.go.jp

